

令和8年度 第1回 島根県立浜田高等学校 学校運営協議会（全定通合同） 報告

日時 令和8年7月2日（木） 13:30～15:30

場所 浜田高校 大会議室

出席委員 西藤 昌裕（一般財団法人亀山教育振興会理事長）
坂手 洋介（浜田高等学校全日制 PTA 会長）
佐々木規雄（浜田市商工会議所・専務理事）
河上 晴夫（石見まちづくりセンター長）
龍河 章江（浜田市健康福祉部・子育て支援課長）
領家 弘典（浜田市立第一中学校長）
佐々木俊幸（浜田市教育委員会・教育部長）
三島 正司（島根県立大学副理事長）
熊谷 修山（HAMADA 教育魅力化コンソーシアム魅力化コーディネーター）
高倉 信明（浜田高等学校長）

11名の委員のうち、10名が出席。過半数の出席をもって、協議会が成立。

傍聴者 なし

庶務・記録係 坂井 樹史（全日制・教頭）
米原 勝治（定時制・副校長）
坂根 博行（通信制・副校長）
松井 健（事務長）
安達 宗男（全日制・主幹教諭）

【会議概要】

1. 開会の挨拶（高倉校長、学校運営協議会の趣旨説明）
2. 会長・副会長の選出
「島根県立高等学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱」
（以下、「要綱」と記載）の第7条に基づき、互選で以下のように選出される。
会 長：西藤 昌裕 氏
副会長：熊谷 修山 氏
3. 会長挨拶（西藤会長の挨拶）
以下、「要綱」第7条の第2項に基づき、西藤会長を議長として議事が進行される。
4. 自己紹介
5. 「要綱」第8条の第4項に基づき、本日の協議会が成立することが確認される。

【議事】

1 学校運営に関する基本方針の承認（以下の事項について、学校側から説明）

- (1) 令和8年度学校経営方針について
- (2) 令和7年度の進路状況（全日制）について
- (3) 令和8年度の教育課程の編成について
- (4) 令和8年度の入試状況と9年度の入学者の受け入れ（全日制）について
- (5) 定時制・通信制課程の概要について

下記の内容について質疑応答や意見交換が行われた。

○部活動の指導体制と、地域移行への動きについて

- ・中学校と連動した活動 ・指導者の確保（競技によっては困難）
- ・部活動の成果と「教職へのやりがい」の相関
- ・部活動指導員の指導の頻度（週に○日）

○生徒が主体となった広報活動と、浜高がPRする魅力について

- ・インスタグラムの運用 ・今後の学校案内作成や学校行事への関わり方
- ・高校生の視点からの魅力

○進路状況

- ・一般選抜（推薦・総合型）の合格者割合 ・市役所受験への希望
- ・合銀と公務員以外の企業情報の周知

○地域や県立大との連携について

- ・連携強化への思い ・地域との接点を増やす必要性（生徒への情報発信）

出席委員全員の賛同が得られ、学校運営に関する基本方針が承認される。

2 各委員からの提言

「現状の課題と解決に向けての方策」

- ①生徒の知的好奇心の刺激や進路の選択肢を提示したりするために、県立大学の教員と学生、あるいは地域の大人を活用してほしい
- ②定時制・通信制の実態に応じた学校設定科目を作ってはどうか
- ③部活動の指導者に関する情報提供を求める
- ④県立大学との交流を増やす（例：大学の先生が高校で授業）ことが大切
- ⑤地域が求めるものを理解したうえで、地域協働活動に取り組む
- ⑥入学者が減少した要因の1つは、進路選択の細分化（自分らしい選択）にある
- ⑦中学校のPTA総会などの場を借りて、中学生の保護者に高校の説明をする

3 年間の会議実施計画について

第2回は11月に、第3回は2月に、「全日制」と「定時制・通信制」別個に開催されることを確認。日時や場所について、近づいたところで事務局から各委員に連絡する。

以上で議事を終了し、熊谷副会長と高倉校長の挨拶をもって閉会する。